

## 平成 24 年度 第 10 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 25 年 2 月 19 日（火） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 25 分

場 所：県庁 10 階 病院事業管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，  
経営企画課長 ほか

病院 中央病院長，海部病院長，各県立病院看護局長，  
各県立病院事務局長 ほか

### (1) 平成 24 年度決算見込み（12 月末）について

#### 【説明】病院局経営企画課 予算企画担当

平成 24 年度の決算見込み（12 月末現在）について示す。

### (2) B C P（業務継続計画）について

#### 【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

県立病院における B C P の作成に向けて，B C P の必要性や作成についての考え方等を説明する。また，他県の状況等について報告する。

#### 【質疑等】

病院局長：今のところ，災害拠点病院として，B C P の作成義務はないが，県立病院は B C P を作成するという事か。

病院局：はい。

病院局長：県立病院と同床規模の病院で B C P を作成しているところがあるかどうか把握しているか。ほかの病院の B C P を参考にできれば，一から作るよりも，より取り組みやすい状況ができるのではないか。

病院局：他県の病院で今年度中に作成予定があるところや，他県で B C P 策定のためのガイドラインの作成を予定しているところもあるみたいなので，参考にできればと考えている。

病院局：B C P の作成は来年度中の予定か。

病院局：はい。

#### 【説明】中央病院

中央病院における B C P の作成に向けた取組の状況等について説明する。

#### 【説明】三好病院

平成 24 年 11 月に策定した徳島県立三好病院事業継続計画について概要を説明する。また，今後の検討課題等についても説明する。

## 【説明】海部病院

海部病院におけるBCPの作成に向けた取組の状況等について説明するとともに、問題点、課題等についても報告する。

## 【質疑等】

**病院局：**来年度、BCPをどのように作成していくかだが、既に急性期（72時間以内）の対応についてはマニュアル化していると思うが、BCPでは中長期における対応も含めて作るのか。また、中央病院のBCPなら中央病院の判断だけで作成しても良いのか。知事部局（保健福祉部、危機管理部等）は関係ないのか。

**病院局：**まずは今日のプレゼンも含め、各病院の状況を把握し、その上で、更に他県や他病院の情報を集めていく。また、県庁内のBCPについては改訂の動きもある。各病院の担当者と話し合いながら、災害拠点病院としてのBCPを作成したいと考えている。

**中央病院：**まず、発災時には、病院において、患者さんや職員自身を守らなければならない。そこで、他県では、院内DMATを養成しているところもあり、中央病院においても災害急性期に対応するため、全職員の約40%、少なくとも200人程度の院内DMATが必要だと思う。また、徳島県における基幹災害拠点病院として、入院患者については通常時の2倍、外来患者については通常時の5倍程度の受入れ、対応が求められている中で、急性期については、DMATと機能分担しながらやっていきたいと考えている。災害医療はこれまで日常のオプションであったが、できるだけ早いうちに講習会等を通じて院内DMATを育成して、早い段階でBCPを作成したい。災害医療については、今までDMATに投げていたところもあったが、新病院になり、災害医療センターも設置したので、しっかり対応していきたいと思う。

**病院局：**72時間（急性期）以降の扱いは、どのようにするつもりか。

**病院局：**72時間以降も含めて、作成することを考えている。どのように通常業務に戻っていくかというところが大事だと思う。

**中央病院：**BCP作成については、職員自身が作り上げていく形を取るのが良いと思っている。職員が作ることで周知にもなる。その上で、現場の中で訓練等を行い、積み上げていくということが重要だと思う。また、災害時の県内の医療体制における当院の位置付けがDMATは分かっているが、病院として院内に周知徹底ができていないところがある。来年度はテーマを持ってやっていきたい。

**管理者：**病院として、72時間のみにポイントを置いて作らない方が良いではないか。地震、津波による被害等が想像できない部分もあるので。

### (3) その他

- ・平成 25 年度当初予算（プレス資料）の概要について

**【説明】** 病院局経営企画課 予算企画担当

平成 25 年度当初予算（プレス資料）の概要について説明する。

- ・診療材料の価格交渉等について

**【説明】** 病院局経営企画課 経営戦略担当

診療材料の価格交渉の状況，平成 25 年度の診療材料の共同購入等について説明する。

**【質疑等】**

病院局：診療材料の共同購入について，品目を増やすことで安くなるのか。

病院局：3 病院がバラバラに購入していた物品については，価格が一番安い病院に合わせるようになり，また，共同購入により購入数量が増えるというスケールメリットが得られるので，安くなることが見込まれる。

病院局：あとは予定価格の設定が重要になると思う。